

敗戦によつてわが社會は革命的時代を現出し、産業經濟の民主化は、人類の本性に基つて至上命題となつた。而してその一動流を爲す労働組合運動の要請の如きは、わが協調會に於て、大正九年すでに宣言要望したところを、その後労働組合法案を押し進め、世に問ひ、つゞいて労働委員會制度の提唱、団体協約等諸研究の刊行、近頃はまた労働立法調査委員會を設けて組合法案に對する意見の發表等があり、今にして早くと心に時局匡救の結實を擧げ得なかつたことを憾みとする。しかし顧るに、本會過去二十七年の業績は、時に或は勞資双方より、その一方に偏するが如き非難を蒙つたこと北一再にして止まらなかつたが、本會は終

始一貫常に中正公平なる立場に立ち、わが國産業労働界が、階級闘争の破局に陥ることなく、近代社會思想の長養と産業經濟の進展とを見ることを得たのは、本會の寄與に負ふところ北少なくなかつたと信ずるのみある。

たに敗戦後に於ける平和國家建立の大道に向つて、新生命を得たる労働問題を直進せしめるためには、協調會創立當時の社會政策的志向は、すでにほかに限界に達したりと認めらるゝにより、むしろこれを解消して新たな構想を以て再發足しその大成を將來に期することを最善の方策なりと信ずる。よつて本會はこのに解散することとし、新たに計畫中の新財團法人中